

### Ⅲ 徳島赤十字乳児院

## 【基本理念】

私たちは、こどもたちが児童憲章のもと、その人権を重んじ、幸せになることを願い、よりよい養育環境の提供に努めます。

## 【基本方針】

- 1 こどもたち一人ひとりの思いを汲み取り、安心して生活できる環境を提供します。
- 2 こどもたちとのふれあいを深め、豊かな愛着関係を築きます。
- 3 こどもたちの体調の変化に留意し、健康管理に努めます。
- 4 こどもたちが家庭に戻り、安定した生活を送れるように支援します。
- 5 ボランティアや地域と連携し、養育の専門性を活かした子育て支援に努めます。
- 6 職員は、専門職としてのより深い知識と確かな技術を身につけます。

## II 徳島赤十字乳児院

### 1 徳島赤十字乳児院の概要

#### (1) 沿革

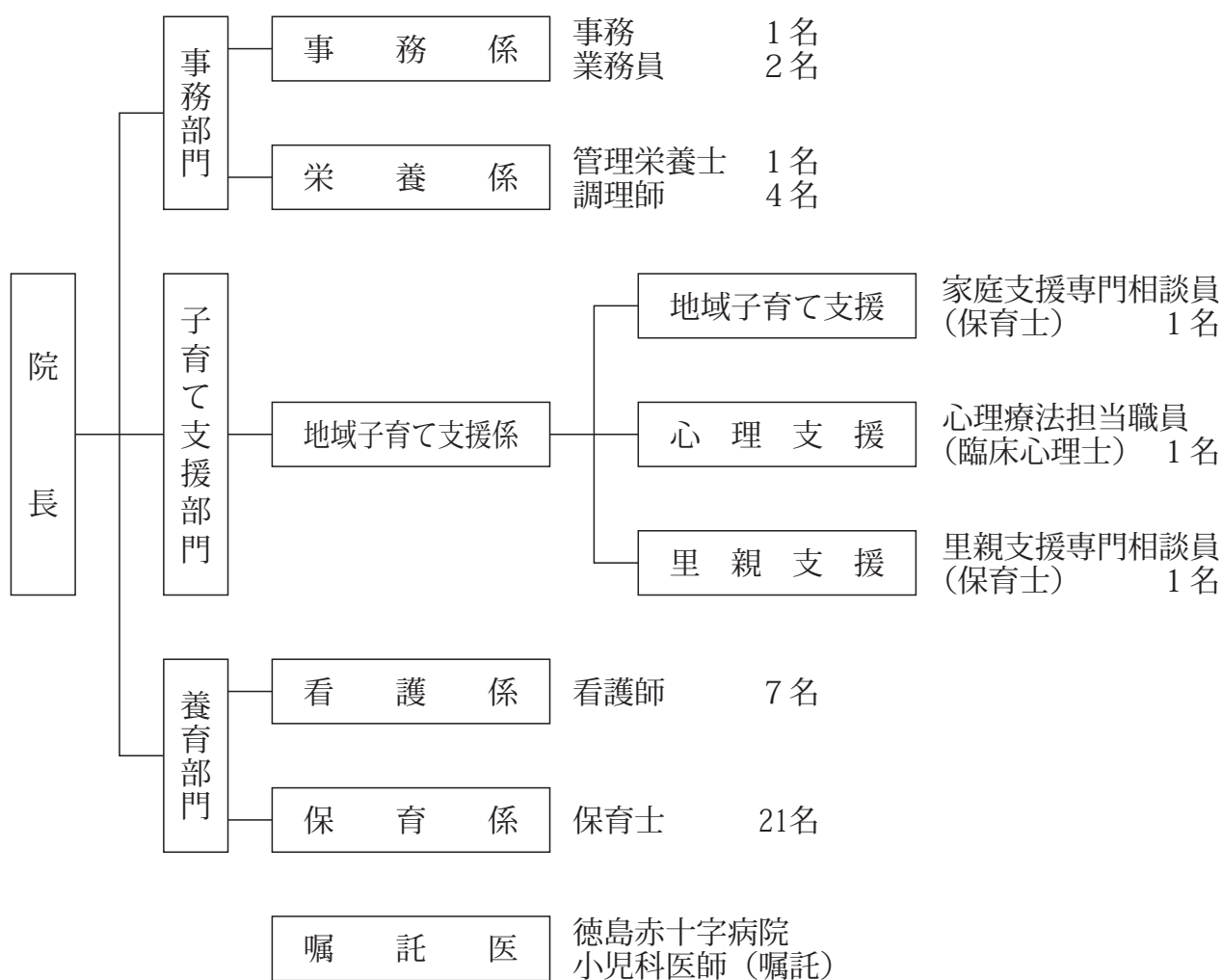
年 月 日	事 項
昭和28. 3. 31	建築落成式（延べ面積288.75㎡）
6. 1	児童福祉法第37条の乳児院として許可される。定員30名 日本赤十字社徳島県支部に運営を委託（小松島赤十字病院が運営に当たる。）
8. 1	開院 院長に武田七郎氏就任
37. 5. 30	浩宮殿下ご誕生記念として遊戯室を新築（建坪66㎡）
40. 4. 1	小松島赤十字病院の運営より離れ日本赤十字社徳島県支部管理となる。 第2代院長に安淵繁市氏就任
42. 4. 1	定員35名に増員
46. 11. 1	第3代院長に大滝武男氏就任
47. 1. 17	乳児院舎屋老朽と入所児童の増加のため改築工事に着工
6. 30	改築工事落成（延べ面積1,059.55㎡）
7. 1	定員45名に増員
56. 6. 1	第4代院長に上田清美氏就任
57. 6. 3	第5代院長に谷本 祖氏就任
平成2. 4. 1	第6代院長に安淵 徹氏就任
9. 4. 1	第7代院長に藤川義男氏就任
10. 4. 1	第8代院長に岡本武文氏就任
14. 4. 1	第9代院長に守田順一氏就任
17. 4. 1	第10代院長に片岡善彦氏就任
18. 4. 1	徳島県から施設移管を受け、日本赤十字社徳島県支部が開設 徳島赤十字乳児院と改称 第11代院長に阿部秀吉氏就任
20. 4. 1	第12代院長に佐野周次氏就任
24. 4. 1	移転改築工事落成（延べ面積1,277.40㎡）
26. 4. 1	第13代院長に新居啓司氏就任
28. 4. 1	第14代院長に横田修二氏就任

(2) 施設の概要

- ① 所在地 小松島市中田町字新開2番地2
- ② 設置主体 日本赤十字社
- ③ 経営主体 日本赤十字社徳島県支部
- ④ 設置年月日 平成24年4月1日
- ⑤ 施設の規模 鉄筋コンクリート造3階・地下1階  
1階部分 延べ面積 1,277.40㎡
- ⑥ 定員 45名  
平成27年度暫定定員 32名  
平成28年度暫定定員 34名予定

(3) 組織及び職員配置図（平成28年4月1日現在）

① 組織



常勤職員合計 40名

② 職員数

(平成28年4月1日現在)

職 種 別	定 員	現 員	備 考
院 長	1 人	1 人	
医 師	1	1	嘱託医師
直接処遇職員	22	5	3歳以上児3人につき職員1人配置 2歳児2人につき職員1人配置 2歳未満児1.3人につき職員1人配置 看護師は、定員10人の場合は2人以上、 10人を超える場合は10人増すごとに1人以上
		1	
		16	
病児保育	1	1	看護師 利用児童概ね10人につき1人配置 保育士 利用児童概ね3人につき1人配置
	1	1	
家庭支援専門 相 談 員	1	1	
里親支援専門 相 談 員	1	1	
小規模グループ ケ ア	3	3	
個別対応職員	1	1	
心 理 療 法 担 当 職 員	1	1	
管 理 栄 養 士	1	1	
調 理 師	4	4	定員30人未満は職員4人 30人以上10人ごとに1人加算
業 務 員		2	
事 務 員	1	1	定員100人未満は職員1人
合 計	39	41	

## 2 事業の実施状況

### (1) 事業の概要

徳島赤十字乳児院は、いろいろな理由により家庭で育てることのできない乳幼児をお預かりして養育させていただく、県内唯一の乳幼児のための児童福祉施設であり、人生の出発点である最も大切な乳幼児期のお子様を預かり、看護師、保育士、管理栄養士などの専門職が、24時間心を込めて養育を行っています。

特に近年は、集団保育の中にも家庭的養育を取り入れ、特定の保育士が入所から退所までの一貫して養育を行う「担当養育制」や家庭的な養育を行うための「小規模グループ」を導入し、子どもたちが、安心感をもてる場所で、大切にされているという体験を実感できる施設運営に取り組んでいます。

### (2) 重点事項

#### ① 入所児童の養育とその家庭支援への取り組み

##### ア. 小規模グループケアの拡充・個別対応の実施

入所児童へのより厚いケアを行うため、児童4～5人を1グループとして、家族の様に別室での養育を行う「小規模グループケア」を3グループ実施しました。

また、養育者と児童が1対1で関わる「個別対応」を行い、愛着形成や発達促進を図りました。

##### イ. 病・虚弱児の受入体制の整備

核家族化や世帯の孤立化が進む中で、家庭での養育が困難な障がい児や病虚弱児の受入要請が増えており、看護師などの専門職の充足を行い、受入体制の充実に努めました。

##### ウ. 心理療法担当職員の配置

虐待等の理由により心理療法が必要な児童に対する支援とともに、精神疾患を抱える保護者や、愛情はあるものの養育能力が不十分なため家庭引取りができない保護者に対し、臨床心理士の資格を取得した心理担当職員が支援を行いました。

##### エ. 野外活動の推進

なし狩り、芋掘り、遠足等の野外活動を積極的に行い、また、みなと高等学園の生徒が育てた野菜の収穫体験や花植え体験な



はじめての梨狩り

ど、社会性の向上と豊かな心の醸成に努めました。

オ. 個人ボランティアの受け入れ

入所児童との遊びや季節行事の補助等を行っていただく個人ボランティアの募集を行い、27年度は延べ148人の方に活動いただきました。

② 地域の子育て支援への取り組み

ア. 子育てスペースにこここほっぺ

親子の仲間作りや悩み相談の場として、毎月1回「子育てスペースにこここほっぺ」を実施し、27年度は延べ71組154名の参加がありました。

イ. 病児保育事業・子育て短期支援事業（ショートステイ）

病児保育事業・子育て短期支援事業（ショートステイ）を周知するための啓発チラシを作成し、子育て世代の保護者に積極的に啓発を行い、地域の子育て支援に努めました。

③ 子育て支援関係機関との連携強化

特に支援を必要とする要保護家庭の乳幼児の支援について、市町村や児童相談所等と乳児院が連携して取り組む体制の強化を目的として、市町村・児童相談所・乳児院の担当者が集まり、第一回「市町村子育て支援担当者・乳児院連携会議」を開催しました。

④ 里親支援

乳児院は、里親支援の拠点としての地域支援機能が期待されているところであり、里親支援専門相談員を中心に、平成27年度は3組の里親委託を行うことができました。

⑤ 施設整備の実施

野外活動の充実と夜間や雨天時における緊急避難場所の確保を目的として、院庭にログハウスを設置するとともに、面会室や相談室の機能性の向上に努めました。



完成したミニログハウス

⑥ 関係機関との連携を深める取り組み

ア. 発達障がい者総合支援ゾーンでの連携

発達障がい者総合支援ゾーンの一員として、徳島県発達障がい者総合支援センター、徳島県立みなと高等学園、徳島赤十字ひのみね総合療育センターと連携し、お祭り、合同避難訓練の実施、支援センターにおける各種相談時の一時預かり等を実施しました。

イ. 児童養護施設との連携

児童養護施設への措置変更を円滑に行うためには、日頃から職員同士の連携、情報の共有が重要であることから、合同研修会や施設交流を行いました。

⑦ 災害対応能力の向上

ア. 災害備蓄品の整備

災害発生時の避難場所である、ハナミズキ棟（当複合施設）備蓄倉庫に、乳幼児のミルク、おかゆ、水等の食料備蓄、おむつ等の日用品、更には発電機等の防災資材等を備蓄し、災害対応力の向上に取り組みました。

イ. 夜間勤務体制の見直し

従来の三交代2人夜勤体制を抜本的に見直し、二交代3人夜勤を導入し、夜間における入所児の安全管理体制の向上及び災害対応能力の向上を図り、もって乳幼児の健やかな成長に寄与することに努めました。



### (3) 在籍児童の状況

#### ① 月初日在籍人員及び延べ人員

月 別	平成 27 年度		平成 26 年度	
	初日在籍人員	延べ人員	初日在籍人員	延べ人員
4 月	26 人	778 人	20 人	601 人
5 月	24	744	21	650
6 月	24	750	21	682
7 月	26	848	24	748
8 月	28	897	25	787
9 月	28	852	25	779
10 月	28	876	26	806
11 月	30	900	26	801
12 月	30	960	27	885
1 月	32	1,010	30	931
2 月	32	956	30	873
3 月	31	974	30	886
計	339	10,545	305	9,429

※一時保護受託児を除く  
措置停止児を含む

#### ② 在籍児童の性別及び月齢

(平成28年4月1日現在)

月 齢	男	女	合 計	構 成 比
3 ケ 月 未 満	0 人	1 人	1 人	3.7 %
3 ケ 月 ～ 6 ケ 月 未 満	0	1	1	3.7
6 ケ 月 ～ 1 歳 未 満	3	0	3	11.1
1 歳 ～ 1 歳 6 ケ 月 未 満	5	1	6	22.2
1 歳 6 ケ 月 ～ 2 歳 未 満	1	2	3	11.1
2 歳 以 上	6	7	13	48.1
計	15	12	27	100.0

※構成比は少数第2位を四捨五入しているため、  
合計が100%にならない場合もあります。

③ 出身郡市別在籍児童の状況

(平成28年4月1日現在)

都 市 別	男	女	合 計
徳 島 市	4 人	5 人	9 人
鳴 門 市	0	2	2
小 松 島 市	0	1	1
阿 南 市	4	1	5
三 好 市	1	0	1
那 賀 郡	0	1	1
海 部 郡	2	0	2
県 外	4	2	6
合 計	15	12	27

(4) 入所児童の状況

① 入所理由

入 所 理 由	平成27年度	平成26年度
父 母 不 明 ( 遺 棄 )	人	人
家 出	父 家 出	
	父 家 出	
	母 家 出	
死 亡	父 母 死 亡	
	父 死 亡	
	母 死 亡	
虐 待	身体的虐待	1
	性的虐待	
	ネグレクト	1
	心理的虐待	2
母 D V		
養 育 困 難		1
養 育 拒 否		1
離 別 ・ 別 居		1
母 未 婚	1	1
婚 外 出 産		
父 ・ 母 受 刑		
父 ・ 母 留 置	1	
就 労 ( 借 金 ・ 貧 困 )	2	1
父 ・ 母 精 神 障 害 ( 知 的 障 害 含 )		3
母 精 神 障 害 ( 知 的 障 害 含 )	4	6
父 ・ 母 疾 病		2
次 の 子 供 の 出 産	1	1
家 族 の 疾 病 付 き 添 い		
育 児 疲 れ		
児 童 自 身 の 障 害		
合 計	13	23

② 入所時の月齢

月 齢	平成27年度	平成26年度
1ヶ月未満	3人	8人
1ヶ月～3ヶ月未満	1	5
3ヶ月～6ヶ月未満	1	3
6ヶ月～1歳未満	3	4
1歳以上	5	3
合 計	13	23

(5) 市町村別在籍児童状況（過去3年間）

4月1日現在在籍児（人）

市 町 村	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
中央子ども女性相談センター	徳 島 市	8	9	12
	鳴 門 市	1	2	1
	小 松 島 市	3	1	2
	吉 野 川 市			1
	阿 波 市			
	勝 浦 町			
	上 勝 町			
	佐 那 河 内 村			
	石 井 町			
	神 山 町			
	松 茂 町	2		
	北 島 町			
	藍 住 町			3
	板 野 町	1		
上 板 町				
南 部	阿 南 市	1	2	4
	那 賀 町	1	1	1
	牟 岐 町			
	美 波 町			
	海 陽 町	2	2	1
西 部	美 馬 市	1		
	三 好 市			
	つ る ぎ 町			
	東 み よ し 町			

(6) 退所児童の状況

在籍期間	平成27年度	平成26年度
1ヶ月未満	0人	2人
1ヶ月～3ヶ月未満	1	2
3ヶ月～6ヶ月未満	3	3
6ヶ月～1年未満	3	2
1年～1年半未満	1	0
1年半～2年未満	1	0
2年以上	3	9
合計	12	18

退所理由	平成27年度	平成26年度
家庭引取	6人	8人
里親委託	3	2
他の施設に移管	3	8
その他	0	0
合計	12	18

(7) 子育て短期支援事業（ショートステイ）の利用状況

郡市別	平成27年度		平成26年度	
	利用実人数	利用延べ人数	利用実人数	利用延べ人数
徳島市	10人	75人	12人	128人
鳴門市	1	10	0	0
小松島市	8	42	5	29
阿南市	5	18	3	4
吉野川市	1	1	1	9
石井町	2	6	0	0
板野町	1	3	0	0
計	28	155	21	170

(8) 病児保育事業の月別利用状況

月 別	平成 27 年 度		平成 26 年 度	
	利用実人数	利用延べ人数	利用実人数	利用延べ人数
4 月	9 人	14 人	7 人	12 人
5 月	3	5	4	7
6 月	17	24	9	14
7 月	13	20	17	26
8 月	10	12	6	13
9 月	12	19	8	14
10 月	8	12	12	24
11 月	13	18	11	25
12 月	9	18	8	21
1 月	5	11	5	11
2 月	9	10	8	13
3 月	8	18	8	19
合 計	116	181	103	199

(9) 病虚弱児の受け入れ状況

年 齢	性 別	疾 患 名
3 歳 0 ヶ 月	男	ダウン症候群（軽度難聴、白内障、合指症）
3 歳 3 ヶ 月	男	滑脳症、WEST症候群
2 歳 8 ヶ 月	男	重症新生児仮死、低酸素性虚血性脳症、 症候性局在関連てんかん、両側硝子体混濁
1 歳 5 ヶ 月	男	完全大血管転位症（Ⅱ型）、B-Tシャント、 肺動脈絞扼術後、心室中隔欠損
1 歳 3 ヶ 月	女	心房中隔欠損もしくは卵円孔開存
1 歳 4 ヶ 月	男	スタージ・ウェバー症候群疑い、単純性血管腫 心房中隔欠損症
0 歳 9 ヶ 月	男	左側唇顎口蓋裂
1 歳 3 ヶ 月	男	ダウン症候群、心室中隔欠損症、心房中隔欠損 症、甲状腺機能低下症
0 歳 5 ヶ 月	男	低位鎖肛術後

(10) 子育てスペースにこにこほっぺ実施状況

開 始 日	内 容	参 加 者	
平成27年 4月17日	こいのぼりを作ろう	4組	8名
平成27年 5月15日	身体測定	5組	11名
平成27年 6月19日	七夕かざりを作ろう	7組	15名
平成27年 7月17日	台風のため、中止	0組	0名
平成27年 8月21日	クッキング	5組	11名
平成27年10月 2日	ミニ運動会	8組	16名
平成27年11月20日	クッキング	8組	18名
平成27年12月18日	クリスマス会	11組	25名
平成28年 1月15日	鬼のお面を作ろう	10組	22名
平成28年 2月19日	お店屋さんごっこ	6組	13名
平成28年 3月18日	クッキング	7組	15名
合 計 (延べ組数・人数)		71組	154名

## (11) 決算状況

### ① 総括

区分	当初予算額	補正予算額	計	決算額	予算額に比し増減
収入	311,266,000 <sup>円</sup>	88,350,000 <sup>円</sup>	399,616,000 <sup>円</sup>	420,273,225 <sup>円</sup>	20,657,225 <sup>円</sup>
支出	257,376,000 <sup>円</sup>	88,350,000 <sup>円</sup>	345,726,000 <sup>円</sup>	341,059,768 <sup>円</sup>	△ 4,666,232 <sup>円</sup>
収入支出差引額				79,213,457 円	

### ② 事業活動による収入及び支出

科目	平成27年度 決算額	平成26年度 決算額	増減額	対前年度比
措置費収入	264,259,916 <sup>円</sup>	235,027,585 <sup>円</sup>	29,232,331 <sup>円</sup>	112.4%
私的契約利用料収入	539,880	494,380	45,500	109.2
補助金事業収入	120,000	120,000	0	100.0
受託事業収入	7,719,150	7,781,750	△ 62,600	99.2
経常経費寄附金収入	349,310	95,000	254,310	367.7
受取利息配当金収入	4,291	158	4,133	2,715.8
その他の収入	5,160,000	4,411,250	748,750	117.0
収入計	278,152,547	247,930,123	30,222,424	112.2
人件費支出	217,994,016	211,085,752	6,908,264	103.3
事業費支出	19,965,036	17,779,830	2,185,206	112.3
事務費支出	12,702,784	12,218,761	484,023	104.0
支出計	250,661,836	241,084,343	9,577,493	104.0

③ 施設整備等による収入及び支出

科 目	平成27年度 決 算 額	平成26年度 決 算 額	増 減 額	対前年度比
施設整備等補助金収入	0 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	— %
収 入 計	0	0	0	—
固定資産取得支出	2,441,292	2,782,574	△ 341,282	87.7
支 出 計	2,441,292	2,782,574	△ 341,282	87.7

④ その他の活動による収入及び支出

科 目	平成27年度 決 算 額	平成26年度 決 算 額	増 減 額	対前年度比
他会計繰入金収入	23,273,900 <sup>円</sup>	6,383,880 <sup>円</sup>	16,890,020 <sup>円</sup>	364.6 %
拠点区分間繰入金収入	0	3,233,891	△ 3,233,891	—
その他の活動に よる収入	25,079,200	20,650,652	4,428,548	121.4
収 入 計	48,353,100	30,268,423	18,084,677	159.7
積立資産支出	78,200,000	20,000,000	58,200,000	391.0
他会計繰入金支出	0	0	0	—
拠点区分間繰入金支出	45,614	13,116,531	△ 13,070,917	0.3
その他の活動に よる支出	9,711,026	3,457,050	6,253,976	280.9
支 出 計	87,956,640	36,573,581	51,383,059	240.5

⑤ 前期未支払資金残高

前期未支払資金残高	93,767,578 <sup>円</sup>
-----------	-------------------------